

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

| | | | |
|--------|------------|------------------|------------|
| 学校名 | 奈義町立奈義小学校 | 実践者名 | 山本 洋平 |
| 教科 | 国語 | 学年 | 第3学年 |
| 活用内容 | ローマ字入力 | 実践日 | 令和3年10月19日 |
| | | 授業活用段階 (岡山県版) | Stage 2 |
| 単元・内容等 | ローマ字を学習しよう | | |

活用の概要 (目的・活用場面・使用アプリ名を含む)

【前時まで】教科書の内容をワークシートを活用し学び、ワークブックを使って練習に取り組んでいる。

【本時】

- (1) タブレットで Classroom に貼り付けた Jamboard を開く。
- (2) グループごとに分かれて、ローマ字を入力する順番を決める。
- (3) ひらがなで提示された「お題シート (例・・・「からあげ」「てづくり」等)」に沿って、自分のグループの色の付箋にローマ字を入力する。
- (4) 制限時間がきたら終了する。スクリーンに映った共有画面を見て、各班が入力したローマ字の正誤を全体で確認する。

※(3)～(4)を繰り返し、グループ内全員が体験できるようにする。



実践者の手ごたえ

児童は、回数を重ねる度にローマ字入力が上達した。個人入力した言葉が、共有された Jamboard に表示されるので、全体での正誤の確認がしやすかった。

児童生徒・保護者等の主な反応や声

(児童から)
「制限時間内に文字を入力するのが難しかったけど、ローマ字の勉強になったし、タイピング入力の練習にもなった。」「グループのみんなと協力してやれて、楽しかった。」